

6. 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下表の対処をしてください。

下表のとおりに対処しても異常がある場合や新しい警報器と交換が必要な場合は、販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

症 状	原 因	対 処
火災警報動作をしない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか？	コネクタを奥まで差し込んでください。
	専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ [電池切れ警報]が鳴っていませんか？	新しい警報器と交換してください。
	火災警報音停止操作をしませんでしたか？ 表示灯がゆっくり点滅していませんか？	火災警報音の停止操作後5分間は、煙を感知しても警報音は鳴動しません。 ボタンまたは引きひもを操作すると「ピピ」と鳴ります。
	煙感知部にホコリなどが付着し、目話まりしていませんか？	ホコリなどの付着物を掃除機で吸い取ってください。
火災ではないのに火災警報動作をする。	調理の煙や湯気、ホコリ、殺虫剤などが警報器にかかっていますませんか？	●警報音を停止し、室内を換気してください。 ●火災以外でも次のような場合に警報動作をすることがあります。 ・くん煙式または加熱蒸散式殺虫剤を使用した場合 ・スプレー式殺虫剤や化粧スプレーなどが直接かかった場合 ・タバコの煙を直接吹きかけた場合 ・調理の煙や水蒸気などがかかった場合 ・線香や蚊取り線香などの煙を大量に発生させた場合 ・チリやホコリが入り込んだ場合
	煙感知部に煙やホコリなどの要因が滞留していませんか？	警報音を停止し、煙感知部の煙をうちわなどであおぐか、ホコリを掃除機で吸って取り除いてください。
「ピポッ」と約1分間隔で鳴り、表示灯が5回点滅する。	[電池切れ警報] 電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。	新しい警報器と交換してください。
約10秒間隔で表示灯が1回点滅する。	[電池切れ警報]を停止中です。	
「ピピピピッ」と約1分間隔で鳴り、表示灯が3回点滅する。	[機器異常警報] 警報器の感度が劣化し、火災を正常に感知できません。	新しい警報器と交換してください。
約10秒間隔で表示灯が3回点滅する。	[機器異常警報]を停止中です。	
点検すると「ピピ」としか鳴らない。	火災警報音を停止中です。 表示灯がゆっくり点滅していませんか？	約5分経過後、再度点検してください。
点検しても何も音が鳴らない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか？	コネクタを奥まで差し込んでください。
	専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ [電池切れ警報]が鳴っていませんか？	新しい警報器と交換してください。

7. お手入れ方法

12ヶ月に1回程度、警報器の掃除を行ってください。

（1）本体・電池を取りはずす

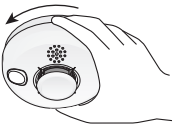
①警報器本体を設置面に軽く押しつけながら、左に回してください。
(取付ベースは設置面に残してください。)

②電池コネクタを機器裏面に対し垂直の方向に引き、取りはずしてください。

③壁に掛けて使用している場合は、取付ベースごとはずしてください。

！ 感知部を持つてはざさない。
故障して火災を感知できなくなるおそれがあります。

左へ回す



（2）お手入れをする

ホコリを吸い取る

本体および感知部にホコリがたい積していたら、全周を掃除機で吸い取ってください。
その際、感知部に掃除機の先があたらないよう注意してください。
また、掃除機が吸引しているときは、掃除機の吸込口を音響孔に近づけないでください。



ホコリを吹き飛ばさない。

ホコリを吹き飛ばしたり、払い飛ばすと煙感知部の内部にホコリが入り、誤作動のほか、正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。

汚れを拭き取る

本体が汚れたら、布を水または中性洗剤に浸し、充分に絞ってから拭き取ってください。
その際、煙感知部に触れないよう注意してください。



分解禁止

機器内部は精密に調整されていますので、分解しないでください。
正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。



水洗い禁止

内部に水が入らないよう気をつけてください。正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。

薬品の使用禁止

ベンジン・シンナーやアルコールなどの化学薬品で拭き取らないでください。
樹脂が変形したり劣化して割れることがあります。

（3）もとに戻す（お手入れ後）

お手入れ後は、本体をもとに戻して機能確認してください。
⇒ **4. 定期点検のしかた** 参照

- 専用リチウム電池のコネクタを奥まで差し込んでください。
- 本体表面が乾いてから取り付けてください。
- 煙感知部にホコリやクモの巣などがいないことを確認してください。
- 引きひもがある場合は、引きひもを本体切欠きに確実に通してください。

8. アフターサービスについて

■この警報器の保証期間はお取付け後5年間です。保証書をご参照ください。
保証書にお取付け日、販売店名の記載がない場合は、原則として有償取替えとなります。お取り付け時にご確認ください。
保証書は大切に保管してください。

保証期間経過後の故障、電池切れについては有料での警報器取り替えとなります。

■この警報器の交換期限は10年です。(警報器側面に記入しています。)
交換期限を過ぎたものは、電池切れなどにより正常な動作をしないおそれがありますので、新しい警報器とお取り替えください。
交換期限は保証期間とは異なり、交換期限内であっても保証期間を過ぎている場合は、無償取替えはできませんのでご注意ください。

■警報器に異常がある場合は、**「6. 故障かな？と思ったら」**の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

■設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。

■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

9. 仕 様

型 名	CS-W5	
種 別	光電式住宅用防災警報器	
型 式	電池方式、2種（DC3V、300mA）、自動試験機能付	
型式番号	住警第26～12号	
電 源	専用リチウム電池 〔公称電圧：DC3V〕 (右記いずれか)	・CR17335E-N-CN3 ・CR17335 WK210 ・CR-2/3AZC32P
機器交換期限	10年（電池寿命 約10年 [※] ）	
火災警報音量	1mにて70dB以上（検定規格）	
外形寸法	φ82mm×39mm（取付ベース含む）	
質 量	約80g（電池含む）	
主 材	ABS樹脂	
色	ナチュラルホワイト	
使用温度範囲	0～40℃（結露しないこと）	
設置場所	天井・壁 兼用	

※10年間の寿命を保証するものではありません。使用条件等によって短くなることがあります。



TOHO GAS

住宅用火災(煙式)警報器

自動試験機能付

住宅用防災警報器検定合格品

品名 **CS-W5**

取扱説明書〔保管用〕[保証書付]

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みいただき、大切に保管してください。
●消防法で定める住宅用防災警報器として設置できます。



	東邦ガス 修理受付ダイヤル	電話受付時間
ガス機器修理等のお申し込みは	 0570-070456 ※IP電話をご利用の方は、お近くの東邦ガスへおかけください。	24時間365日、 修理等の訪問予約 を承ります

保証書

商品名 住宅用火災（煙式）警報器 品名 **CS-W5**

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この保証書は、東邦ガス供給区域内においてご使用になる場合に、本書記載内容で無料点検・無料取替えを約束するものです。万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

- 保証期間
(1) 保証期間は、お取付け後5年間とし、機器本体（専用電池含む）を対象とします。
なお、警報器本体の交換期限はお取付け後10年間です（交換期限は、機器本体ラベルに「西暦と月」で記入しております）。
保証期間終了後は、交換期限内であっても、無料点検・無料取替えはできませんのでご注意ください。
- 点検の実施
(1) 取扱説明書に基づいた使用状態で、誤作動等の異常が発生した場合には、点検いたしますのでご連絡ください。
(2) 点検の結果、故障が認められた場合は、点検を無料として無料取替えいたします。
- 保証書の適用除外
保証期間内であっても、次の場合には、有料点検・有料取替えとなります。
(1) 点検の結果、本製品に異常が認められない場合。
(2) 取扱説明書に基づかないで使用して生じた故障または損傷。
(3) 火災、凍結、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも昆虫等の動物による故障または損傷、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障または損傷。
(4) 水や煮こぼれ等の液体による故障または損傷。
(5) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障または損傷。
(6) 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、筐体の色あせ等の経年変化、ご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
(7) 本製品のお買上げ販売店または当社が指定した取付業者以外で取付けられた場合の故障または損傷。
(8) お買い上げ後に、お客さまによる取付位置の移動、落下、衝撃等を起因とした故障または損傷。
(9) お買い上げ後に、分解、改造等が行われた場合の故障または損傷（ただし、当社都合の場合は除く）。
(10) 過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗した場合。
(11) 調理の煙や湯気、ほこりなど、住宅環境による警報発生により電池が消耗した場合。
(12) 本書にお取付け日、販売店名・住所の記入捺印がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(13) 本書のご提示がない場合。
- お客さまへ（ご注意）
(1) 本書をお受け取りになる時に、お取付け日、販売店名・住所が記入捺印してあることを確認してください。
(2) 本書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
(3) 交換期限（お取付け後から10年）経過後は、新しい商品とお取替えください。
(4) 本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
(5) 無料点検・無料取替えやアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへお問い合わせください。

お取付け日	年	月	日
販売店名（店名）	（住所）	（TEL）	

保証履行者	東邦ガス株式会社 〒456-8511 名古屋市中熱田区桜田町19番18号
保証責任者	新コスモス電機株式会社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4

ご使用前に

●本警報器は、住宅用の火災警報器です。「自動火災報知設備」には代用できません。

●お取り付けいただいた部屋や廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめします。

●本警報器は、煙を感知して警報する機器で、火災を防止する機器や消火装置ではありません。火災などによる損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。

●商品を正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書にはいろいろな注意事項を記載しています。以下の注意表示をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
	注意	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が傷害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または警報機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

	「一般的な注意」		「一般的な禁止」		「一般的な指示」
---	----------	---	----------	---	----------

ご使用上の注意

警告

●日ごろ人のいない部屋に設置する場合は、警報が聞こえることを確認する。

●次のような場合は警報に気づかないことがあるため注意する。

- ・薬の服用後または飲酒後に就寝した場合
- ・就寝時などに、離れた部屋の警報器が作動した場合
- ・交通、ステレオ、ラジオ、エアコンなどの騒音が大きい場合

●次のような火災では作動しないことがあります。

- ・火のまわりの早い火災
- ・煙の発生しない火災
- ・ガス漏れや薬品による爆発的な火災

●警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉めた時は、他の部屋で発生した火災を感知することはできません。

●火災の煙は上昇するため、2階で発生した火災を1階に取り付けた警報器で感知することはできません。

●絶対に分解・改造や針金などの異物を挿入しない。
落下などにより衝撃を与えた機器は使用しない。
正常に作動しないおそれがあります。

●電池切れ・機器異常の警報器は使用しない。

火災時に作動しないおそれがあります。

●定期点検のとき、ライターなどの炎を使用しない。

故障の原因となるばかりでなく、火災の原因になります。

●取付ネジや専用リチウム電池の取り扱い、は、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。
誤飲またはケガのおそれがあります。

●高所の操作および作業は、安定した台に乗って行う。

転倒してケガをするおそれがあります。

注意

●殺虫剤や化粧スプレー、タバコなどの煙を直接かけない。

誤作動の原因および性能に悪影響を及ぼすおそれがあります。

●耳を近づけて警報音を聞かない。

聴力障害などの原因となるおそれがあります。

●音響孔をテープなどでふさがない。

充分な警報音量が確保できないおそれがあります。

廃棄について

●警報器や電池を廃棄する場合は、分解したり加圧変形させず、市町村により定められたルールに従って廃棄してください。
※必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

●電池を廃棄する場合は、電池の保護フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻いてください。また、金属片など導通性のあるものと一緒に廃棄しないでください。絶縁状態にせず廃棄すると電池がショートし、発火、破裂の原因になります。

1. 商品のご確認（各部の名称とはたらき）

以下の商品内容物が揃っていることを確認してください。

- 本体
- 取付ベース
- 専用リチウム電池（公称電圧 DC3V）
- 取扱説明書（保証書付）（本書）
- 取付ネジ（2本入り）

④出荷時に本体に取り付けてあります。

⑤・保護フィルムをはがさないでください。
・市販品ではありません。

取付ベース（出荷時は本体に取り付け）
警報器を固定します。

本体（警報器）

音響孔
警報音が鳴ります。

煙感知部
煙が流入し、煙を感知します。

『警報停止』ボタン 兼 表示灯（赤）
警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
・警報時に表示灯（赤）が点滅します。（通常時は消灯）

引きひも
引くことで『警報停止』ボタンと同じ操作ができます。
④引きひもが必要な場合は、適合するひもを別途ご用意ください。
（適合ひも：市販の照明用スイッチひもなど（太さφ0.7～1.4mm程度））
引きひもの取り付け方法は、2項 **引きひもの取付方法** を参照してください。

2. 取り付ける前に

（1）取付ベースをはずす

本体を押さえ、取付ベースを左に回して取りはずしてください。

感知部を持ってはずさない。
故障して火災を感知できなくなるおそれがあります。

（2）交換期限の記入

警報器側面の交換期限ラベルにお取付け日から10年後（西暦）の同月を記入してください。

（3）専用リチウム電池を取り付ける

- ①電池コネクタの突起と本体側の電池用コネクタの溝をあわせて奥まで差し込んでください。
- ②本体の裏面にある電池収納部に電池を納めてください。
このとき、電線を電池と収納部の間に挟まないでください。

専用リチウム電池のコネクタは奥まで差し込む。
コネクタの差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

引きひもの取付方法

引きひもを取り付けるとき、フックが引かれて警報音や点検の音声が届くことがあるので注意する。（監視状態の場合）

- ①引きひもを本体に取り付ける前に、先端を伸ばし結びしてください。

結び目のつくり方

②図のように引きひもをリング状に持ちます。
③引きひもをフックに引っ掛けてください。
④ツマミを引き、結び目をフックに固定します。
⑤引きひもを本体の切欠きに通してください。

ツマミ

結び目

切欠き

フック

取付完了図

3. 取付方法

取付場所

取付場所については、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

取付場所

寝室（居室など）、階段、廊下、台所

取付位置

下図の取付位置を守り、『警報停止』ボタンおよび引きひもが操作しやすい位置に取り付けてください。

壁取り付けの場合
天井から **15～50cm** の範囲に取り付ける

天井取り付けの場合
壁や梁から **60cm 以上** 離して取り付ける

天井・壁共通
エアコンなどの空気吹き出し口から **1.5m 以上** 離して取り付ける

●上記を守ったうえで、照明器具から 50cm 程度離してください。

④なるべく部屋の中心になるように取り付けてください。

0～40℃の温度範囲内で結露しない場所に取り付ける。
警報器は必ず正しい取付場所に取り付ける。
次のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因および正常に火災を感知できないおそれがあります。

次のような場所には取り付けないでください。

●浴室など、水がかかる場所や常時温度や湿度が高い場所

●石油ストーブの近くなどススや水蒸気が発生する場所

●ホコリや虫の多い場所

●空気の流れが激しい場所
・換気扇や扇風機、エアコンの近く
・すきま風の強い場所

●ガレージ、調理場などの火災でない煙、蒸気などがかかる場所

●吊り下げ式の照明やタンスの真上

●カーテンレールの上部などのホコリが立ちやすい場所

●コンロの近くなど台所や居室で油煙が直接かかる場所

●屋外

取り付けかた

警報器は、下記の要領で天井または壁に取り付けます。

取り付けるとき、軍手などのホコリが発生する手袋は使用しない。
煙感知部にホコリが入り、誤作動の原因になります。

付属の取付ネジ以外で取り付けない。
本体が落下して破損したり、ケガをするおそれがあります。

取り付け時に発生するホコリなどが、煙感知部に入らないように注意する。
煙感知部にホコリが入ると、誤作動の原因および正常に火災を警報できないおそれがあります。ホコリが入った場合は掃除機で吸い取ってください。

引きひもを取り付けている場合は、引きひもを本体の切欠きに確実に通す。
ボタンの操作ができなくなるおそれがあります。

天井・壁（ネジ止め）に取り付けるとき

取付ベース

取付ネジ

右へ回す

【壁】
ベースの矢印が真上になるように

【壁】
『警報停止』ボタンの位置が下になるように

- ①取り付け面（天井・壁）の充分に強度のある補強材などが通っている場所に取付ネジで取付ベースを固定してください。
- 天井に取り付ける場合
『警報停止』ボタン兼表示灯が見やすい位置になるようベースの向きを合わせてください。
- 壁にネジ止めて取り付ける場合
ベースの矢印が真上になるようベースの向きを合わせてください。
- ②本体を取付ベースに合わせ、止まるまで右に回してください。

壁に掛けて取り付けるとき

- ①本体に取付ベースを取り付けてください。
- ②取付ネジを壁の途中まで垂直にねじ込んでください。
（ネジ頭と壁の間に2～5mmの範囲になるまでねじ込んでください。）
- ③ネジ頭に、取付ベースにある取付孔を引っ掛けてください。

警報器を取り付けた後は、必ず正常に動作することを確認してください。
4. 定期点検のしかた を参照ください。

4. 定期点検のしかた

正常に動作することを確認するため、定期点検を必ず行ってください。

外観を確認する（推奨点検頻度：12ヶ月に1回以上）

煙感知部にホコリなど異物が付着していないか確認してください。

- ホコリやクモの巣などの異物が感知部および周辺に付着している場合は、掃除機で取り除いてください。⇒ **7. お手入れ方法** 参照
そのままの状態で使用すると火災の感知が遅くなったり、感知できない場合があるほか、誤作動の原因にもなります。

機能を確認する（推奨点検頻度：1ヶ月に1回、または3日以上留守にされたとき）

警報器を以下の要領で動作を確認してください。

- ①『警報停止』ボタンを短押しする。（3秒未満）
（引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。）
- ②操作音が「ピピ」と鳴り、「正常です」と鳴動します。

- 正常以外の場合は「電池切れ警報／機器異常警報」の **対処方法** にしたがって対処してください。

結果	警報音（音声）	表示灯
正 常	正常です	点灯（「正常です」鳴動中）
電池切れ	ピポッ警報器の電池切れです	1回点滅（ピポッに同期）
機器異常	ピピピピッ警報器の異常です	3回点滅（ピピピピッに同期）

引きひもを取り付けている場合は、引きひもを強く引かない。
引きひもがはずれる。または本体が落下するおそれがあります。

火災警報音の確認

火災警報音を確認したいときは、次の操作をしてください。

- 『警報停止』ボタンを押すと、操作音が「ピピ」と鳴り、そのまま約3秒以上長押しを続けると火災警報音を鳴動します。（引きひもがある場合は、引きひもを引き続けても操作できます。）
- ④電池切れ・機器異常時は火災警報音の確認はできません。

結果	警報音（音声）	表示灯
正 常	ピー、ヒュー、ヒュー、火事です、火事です	連続点滅

④火災警報音は『警報停止』ボタンを押し続けている間（または引きひもがある場合は、引きひもを引き続けている間）繰り返します。（最大30秒間）

5. 警報について

火災警報

煙を感知すると、警報音と表示灯が連続点滅してお知らせします。

表示灯
連続点滅

ピーヒューヒュー
火事です火事です

火災のとき

感知元（火元）を確認し、119番へ通報するなど適切な対処をしてください。
煙がなくなると自動的に警報は停止します。

火災でないとき

火災以外で警報動作をする場合、**6. 故障かな？と思ったら** を参照し、警報の要因を取り除いてください。

火災警報音を停止するには

- 『警報停止』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と約5分間、警報器の警報音が停止します。
- 警報音停止中の5分間は、表示灯がゆっくり点滅し続けます。

感知部に煙が残っている場合は、約5分後に再び火災警報音が鳴動します。部屋の換気などを行い、要因を取り除くことにより火災警報は自動的に止まります。

くん煙式または加熱蒸散式殺虫剤を使用する場合

煙式の警報器を設置した部屋や近くで、くん煙式または加熱蒸散式の殺虫剤を使用すると作動（誤作動）する場合がありますため、本体部を取りはずして殺虫剤がかからない場所に一時的に退避してください。
使用後、換気をして必ず元の状態に戻し、点検を行ってください。
点検方法は、**4. 定期点検のしかた** を参照してください。

火災以外で警報が鳴っても、警報器本体や電池をはずさない。
その後の監視ができなくなり、火災を感知してお知らせすることができません。

電池切れ警報／機器異常警報

専用リチウム電池の寿命が近づいた場合（電池切れ）、警報器の感度が劣化し、正常に火災を感知できない場合（機器異常）、図のように警報音と表示灯でお知らせします。

表示灯

【電池切れ】
・ピポッ警報器の電池切れです（30分ごとに2回）
・ピポッ（1分ごと）

【機器異常】
・ピピピピッ警報器の異常です（30分ごとに2回）
・ピピピピッ（1分ごと）

対処方法

- 【電池切れ】の場合
電池電圧が低下しています。
販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡のうえ、すみやかに新しい警報器と交換してください。
- 【機器異常】の場合
警報器の感度が劣化しています。
販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡のうえ、すみやかに新しい警報器と交換してください。
④機器異常が発生すると、正常に火災を感知できません。

電池切れ警報音／機器異常警報を停止するには

- 『警報停止』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と音声で電池切れまたは機器異常をお知らせし、約24時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯が次のように点滅します。
 - ・電池切れ：10秒ごとに1回点滅
 - ・機器異常：10秒ごとに3回点滅

本警報器は10年で交換
10年を越えて使用すると、汚れなどの影響により火災の感知が遅れる場合があります。設置後10年経過後は、すみやかに新しい警報器と交換してください。